

K A W A K A M I D A M 2007

川上ダム通信 10月号



独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

新所長就任挨拶

地域の安全・安心に大きく寄与する川上ダム建設を目指して!!

伊賀市、また、木津川上流にお住まいの皆様、はじめまして。

平成 19 年 10 月 1 日付けで、川上ダム建設所長を拝命しました及川拓治と申します。

川上ダムは予備調査に着手以来、40年の歳月が経過しています。ダム建設の事業計画が確立するまでに長期間を要してきた為に、地元青山の皆様には、物心両面に渡り多大なご迷惑をおかけしてきました。特に、長年住み慣れた土地から苦渋の選択の上で移転いただいた川上区の皆様、あるいは先祖伝来の土地をダムの事業用地として手放していただいた多くの方々、また、ダム事業が予定されていることと道路改良が遅延し、ご迷惑をおかけしている地元住民の方々に、川上ダム建設を担当する水資源機構の職員の一員として心からお詫びを申し上げます。

さて、この青山の地に事務所を構えて25年目の今夏、平成9年に改正された河川法の手続きに基づ

き、国土交通省が淀川水系河川整備基本方針を定め、今年度内には、河川整備計画を策定するものとして、現在、最後の手続きが進められています。いよいよ川上ダムが本格的な建設に向け第一歩を踏み出すときが近づいてまいりました。

皆さまの長年に亘る御叱咤に、漸く実際の行動を伴って報いることができる状況が目前に迫ってきたことを嬉しく感じるとともに、身の引き締まる思いを抱いているところです。私は、ここに、川上ダム建設所に勤務する職員一同を代表して、これから川上ダムの完成を目指して、一所懸命に努めて参ることをお誓いいたします。どうか一層のご支援、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。



川上ダム建設所長 及川拓治

伊賀市内所在の官公署に「淀川水系河川整備計画原案」を説明



会議での説明の様子

平成 19 年 10 月 17 日(水)に伊賀市役所で開催された、伊賀市内に所在する官公署(所)の代表者と報道機関の皆様で構成される連絡会議の中で、国土交通省近畿地方整備局木津川上流河川事務所の桜井所長が「淀川水系河川整備計画原案」を含めた木津川上流域の河川整備の概要を、川上ダム建設所の及川所長が川上ダムの計画概要についてそれぞれ説明しました。

これは河川整備計画の策定に向け、地域や流域の皆様の声を幅広く聴き取るとのことから、機会ある毎に同原案を知ってもらうための説明を行っているものです。

近畿地方整備局では、この河川整備計画原案には地域や流域の皆様に密接に関係する内容が多く盛り込まれていることから、継続して丁寧な説明に努めているところです。

【総務課長 上村信幸】

地域の皆様からの事業進捗に向けての叱咤



説明する及川所長

10月9日(火)に川上区の住民の皆様に対して、平成19年度川上ダム建設事業説明会を開催しました。

冒頭、花岡川上区長、城山青山支所長から挨拶があり、続いて及川川上ダム建設所長から川上ダムの現況等を説明しました。その後機構の担当者から平成19年度の事業計画や工事の進捗状況等の説明を行い、青山支所からは生産管理用道路の説明が行われました。出席された皆様からはダム進捗に向けての活発な質問や意見が多く出されました。

【第一用地課 川部信夫】

10月25日(木)に川上ダム建設所のふれあいホールにおいて、川上ダム建設予定地の上下流地区から代表の皆様に出席を頂き、平成19年度の事業説明会を開催しました。

説明会では河川整備計画原案の概要と現在行われている住民意見交換会の開催状況や同原案に明示されている川上ダムの計画についてご説明した後に、今年度、来年度の工事計画についてご説明致しました。また、住民意見交換会の取り組みは河川整備計画の策定に向け流域住民の皆様の声を反映させていくためのものであることをお伝えしました。

出席頂いた方からは河川整備計画原案での川上ダムの位置付けや道路計画等について質疑頂きましたが、何れも川上ダム及び関連事業の早期完成を望んで頂いているものでありました。

今後も川上ダムの事業推進に向け、一層の努力を行って参りますので、ご協力をお願い致します。

【第二用地課 藤好健太郎】



事業説明会の様子

※本年8月16日に淀川水系河川整備基本方針が策定され、8月28日には淀川水系河川整備計画原案が公表されました。川上ダムでは、より実のある情報提供と意見交換を行うよう原案公表後に事業説明会を開催するよう考えました。地域の皆様へは、同説明会の開催がこの時期まで遅延したことに対し深くお詫び申し上げます。

木津川上流意見交換会が開催されました



意見交換会の様子

去る10月21日(日)、上野フレックスホテルにおいて、河川整備計画原案に対して流域住民の方々の意見をお聞きする場として、木津川上流河川事務所主催の第1回意見交換会(伊賀会場)が開催されました。

意見交換会では木津川上流河川事務所から原案についての説明の後、13名の流域住民の方々から意見を発表していただきました。

ご意見の多くは治水対策の早期実施や水没予定地から移転していただいた方々からの川上ダムの早期完成の切実な願いなど、我々川上ダム事業者にとって大変有り難くもあり、また申し訳なく思うものでした。いただいたご意見を胸に刻みこれまで以上に事業実施に向けて事務所一丸となって取り組んで行きたいと考えております。

なお、第2回意見交換会は名張会場で11月16日(金)、伊賀会場で11月17日(土)に開催の予定となっています。

【調査設計課長 岩本浩】

「オオサンショウウオの会」が川上ダム建設所を見学



繁殖状況を観察している成体（おとな）の説明

「オオサンショウウオの会」とは、オオサンショウウオの生息地を訪ね、会員間の情報交換を通じて見聞を広めることにより、オオサンショウウオの保護に役立てようと平成16年に設立された会で、今年も10月7日・8日に三重県名張市赤目町長坂（赤目四十八滝）で開催され、約80名が参加しました。

川上ダム建設所もオオサンショウウオに関する情報交換を行うために本会に入会しており、7日に行われた各地からの報告会で、オオサンショウウオの移動経路の試験について中間



幼生（こども）の生育状況の説明

報告を行いました。また、8日の現地見学会では、赤目の日本サンショウウオセンター等の他に、当建設所の「オオサンショウウオ保護池」で見学が行われ、参加者と貴重な情報交換を行いました。【環境課 古賀勝之】

ハーモニー・フォレスト ドラム缶炭焼き体験

10月17日（水）、青山ハーモニー・フォレストにて博多住民自治協議会の役員の方々がドラム缶窯による炭焼き体験をされました。窯を作るドラム缶は川上ダムの工事業者から提供を受けたもので、この日3つのドラム缶窯を、高尾地区の森脇久夫氏、阿保地区の宮坂房雄氏の指導の基、完成させました。



作成した竹炭と作業の様子

炭の材料の竹や雑木は、川上ダムの事業用地をはじめとする周辺の山林のものであり、炭作りは、クヌギ、竹、混合材と3種類の材料別に焼かれました。

当日、午前10時着火後、約2～3時間で煙突からの煙の色が変わり始め、煙の温度を見ながら焚き口を小さくし、夜9時頃には2つの窯で煙突の煙が透明になり、密封されました。翌々日19日はいよいよ窯開きです。うまく炭となった窯や残念ながら灰となった窯もありました。今後、ハーモニー・フォレストの趣旨に

沿い、「炭焼き体験」を通じて、近郊や都市部の皆さん、お年寄りからお子様までが楽しめるまでにしていきたいとのことです。【第二用地課長 芦田哲郎】

交通安全に対する意識の向上を！

9月6日（木）、11日（火）、10月4日（木）、三重県津市にある三重県交通安全研修センターで、川上ダム職員が交通安全研修に参加しました。研修では、屋内でのシミュレーターによる危険予測と緊急回避、屋外で教習車を使った急制動・急ハンドルによる緊急回避等を行いました。滑りやすい路面での急制動は大変難しく、危険予測を行い急操作を避けることの大切さを実感しました。今回の研修で学んだことを活かして、これからも安全運転を心がけたいと思います。【環境課 磯野正典】



路上教習の様子

JICA研修員が環境保全を学びに来所



保護池での研修の様子

10月19日（金）、（独）国際協力機構（JICA）による研修の一環で、ネパールやスリランカなど6ヶ国8名の研修員が川上ダム建設所に来所しました。この研修の目的は、良好な生活環境や自然環境を保全するために必要な技術を習得することにあります。

ふれあいホールにて、川上ダムの職員から研修員へ水資源機構の事業や川上ダムの計画、川上ダム周辺の環境保全について説明を行った後、川上ダム建設予定地とオオサンショウウオ保護池の視察に向かいました。当日は雨となりましたが、保護池では、研修員からオオサンショウウオの生態や巣穴の構造などについて、たくさんの質問がありました。【環境課 磯野正典】

ちよつとオオサンショウウオ！

今年の産卵は？

ちょうど一年前の10月号で、川上ダム建設所のオオサンショウウオ保護池で2年ぶりに産卵を確認したことについてお知らせしましたが、残念ながら、今年は10月下旬になっても産卵が確認できません。

以前にもお知らせしましたが、オオサンショウウオの繁殖期は8月下旬から9月上旬ですが、川の水温が高い状態が続くと産卵が遅くなって、9月中旬から下旬となることもあります。昨年も川の水温が高く、前深瀬川の水を導水しているオオサンショウウオの保護池で、日平均水溫が20℃を下回るようになってきたのが9月中旬であり、昨年は10月2日に産卵を確認しました。

今年は昨年以上に川の水温の高い時期が長く、オオサンショウウオ保護池で日平均水溫が20℃を下回るようになってきたのが9月下旬くらいだったのですが、どうやら今年は、産卵の確認は難しそうです。



保護池A区画の様子

【環境課長 大村朋広】

ちかた 藤原千方伝説地探訪

〈見張り台跡〉

千方城郭の見張り台といわれています。

これまで4回に渡ってお送りした、千方窟周辺遺跡は今回で最後となります。次回からは床並川上流の遺跡をご紹介します。

※千方窟周辺遺跡への行き方

近鉄青山町駅から高尾行きバス 25分高尾保育所前下車徒歩1時間



見張り台跡

EVENT

大村神社例祭

宝殿を中心に、秋祭りとして、毎年1回行われます。特に11月2日の宵宮には、各地区から奉納される獅子神楽が夜遅くまで舞われ、模擬店もでて賑わいます。

○日時／11月2日(金)～11月3日(土/祝)

○場所／大村神社

ふれあいフェスタ in 青山

地元農産物の朝市をはじめ、木材製品の販売、地元地区の出店やフリーマーケットのテントが軒を連ねます。丸太切りなどの各種体験コーナー、地元「青山太鼓」演奏やソーラン踊りなどのアトラクションもあります。

○日時／11月23日(金/祝)

○場所／青山ハーモニー・フォレスト

青山高原のすすき【紅葉】

ススキの群生が美しい風景を見せてくれます。

○日時／9月下旬～11月中旬

○場所／青山高原

編集後記

10月23日～25日の上野天神祭は活気に溢れていました。朝晩は冷える日が多くなってまいりましたが、鬼行列の鬼に病気を追い出してもらい、体調を崩さぬようお過ごし下さい。

【広報誌発行事務局】

編集長 及川 拓治 (川上ダム建設所長)

デスク 上村 信幸 (総務課長)

〃 北牧 正之 (工務課長)

通信記者 立石 浩行 (調査設計課)

〃 磯野 正典 (環境課)



ISO14001 : 2004

JQA-EM5769

☆☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆☆
◇川上ダム建設所はISO14001を取得し、環境保全を推進しています。この広報紙は古紙配合率100%再生紙を使用しています。◇